

目 標 達 成 計 画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	48a	運営推進会議に参加できていない家族が一定数あり、その意見を聞くための別の機会が設けられていない	運営推進会議に参加できない家族についても、会議以外の方法で意見要望を把握できる	・面会時や電話連絡時に、意見や要望を聞き取る機会を意識的に設ける(全職員ができるように)又家族宛てのお便りや請求送付時に一文を入れる	12 か月	
2	17b	入居者の重度化により買い物や献立づくり、調理、後片付け等の参加が難しい(業者の献立で主食と汁物以外は出来上がったものが届く)	季節の食事メニューの回数を増やし、その際のメニューの話し合い、役割や関わり方を工夫しながら可能な範囲で食事づくりに携わることができる	食べたいものなど、入居者と話し合う機会を設けその際に決まったメニューの調理の準備や様子を一緒に見たり、声掛けを行う 完成した料理の味見もしていただき食事を楽しむ支援に繋げる	12 か月	
3	51e	地域のケア拠点としての機能が不十分で取り組めていない	各関係機関に必要時や年に数回連絡を取り情報共有や相談を行えるようになる 研修や地域行事に参加し交流する機会が増える	入居者の支援上の課題や研修、事業所の困っていること等について関係機関と情報共有や相談を行う 地域のイベントに参加するなどして、地域との交流機会を増やす	12 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	☐	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
			②利用者へサービス評価について説明した
		☐	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
			④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		☐	⑤その他(次回の運営推進会議で行う予定)
2	自己評価の実施	☐	①自己評価を職員全員が実施した
		☐	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		☐	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
			④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	☐	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☐	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☐	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	☐	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
			③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
			④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐	⑤その他(次回の運営推進会議で行う予定)
5	サービス評価の活用	☐	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
			②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		☐	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		☐	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			⑤その他()